

環 境 報 告 書

令和4年 10月報告

ふりがな	かぶしきがいしゃ ふじさわぐみ			認定	2つ
事業所名	株式会社 藤澤組			ランク	
概 要	所在地	松本市大字島内1260番地10			
	代表者名	代表取締役 藤澤 正佳			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	特定建設業	長野県知事 許可(特-28) 第258号		
		主な事業内容	土木、舗装、造園、とび・土工、解体工事業		
		設立	昭和31年8月6日	資本金 5,000万円	従業員 27名
	担当者	所属	総務部安全環境課	氏名	藤澤 達哉
	連絡先	電話	0263-47-7770	FAX	0263-47-8292

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	<p>参考資料「エコアクション21：環境経営レポート2022年度版P. 2より」 当社の環境経営方針 環境経営理念</p> <p>当社の事業は、公共工事の施工を通じて、地域社会に貢献する事を使命に事業活動を行なっています。これからも、地域の発展に寄与し、地域の良好な環境を維持しつつ、地球温暖化防止対策に目を向け、環境負荷低減など全体を通じて、事業の効率化に取組み、健全な経営に反映できるよう、環境保全活動を推進します。なお、緊急災害時には当社の特性を踏まえ迅速な対応を持続していきます。</p>
環境に関する取組目標	<p>行動計画（環境経営レポート2022年度 P. 2より）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。 2. 当社の事業活動による環境配慮の取組に努めます。 3. 経営規模に応じて、電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。 4. 一般廃棄物の削減と3R（発生抑制、再利用、再生利用）を推進します。 5. 経営規模に応じた適正な水資源の有効利用を進めます。 6. 事務用品等のグリーン購入やグリーン調達に出来る限り努めます。 7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。 8. 環境経営の継続的改善を誓約します

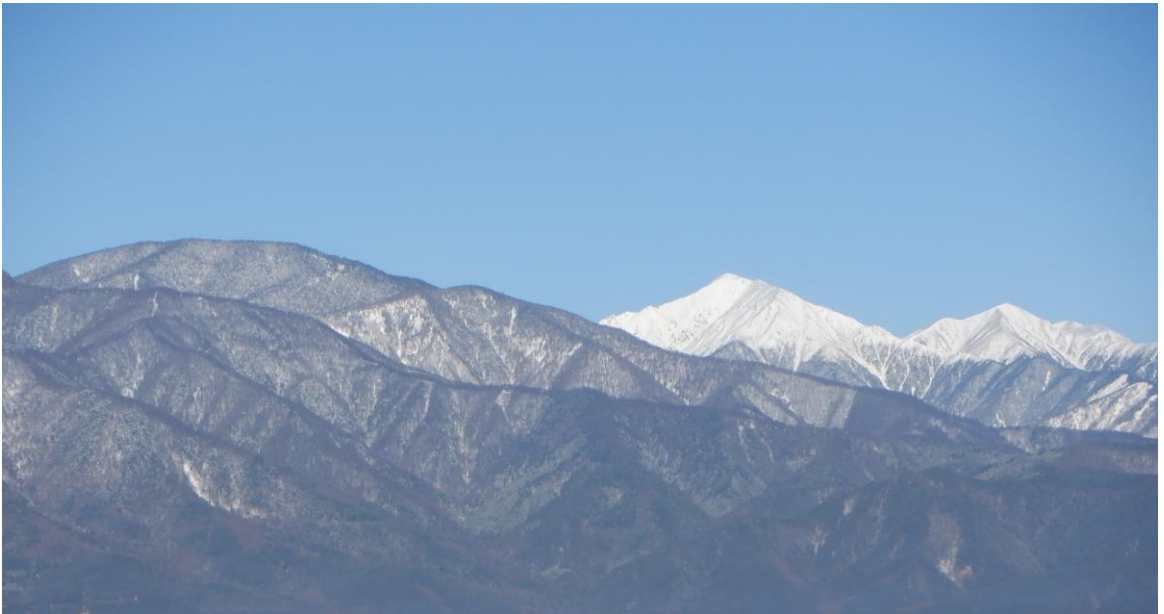
<p>具体的な取組内容</p>	<p>参照「エコアクション21環境経営レポート2022年版 P.5、P.6」より 環境活動の取組み計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総CO₂排出量の原単位削減 ・ 消費電力の二酸化炭素排出量の削減 ・ 自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 ・ 一般廃棄物の原単位削減 ・ 産業（建設）廃棄物の削減（建設副産物の適正処理の確認） ・ 水道使用量の原単位削減 ・ 工事評価点の品質維持 ・ 事務用品のグリーン購入 ・ 事業活動による環境配慮の取組 ・ 社会貢献 <p>活動期間中の削減目標 *目標値（2011年8月～2016年7月までの5期平均実績） に対して±6%</p>
<p>実施結果（成果）</p>	<p>参照「エコアクション21環境経営レポート2022年版 P.4」より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動の取組みの評価（達成状況）と次年度の取組内容 ・ 活動期間中の実績（2021年8月～2022年7月までの累計）
<p>課題・問題点と その改善に向けた取組み</p>	<p>参照「エコアクション21環境経営レポート2022年版 P.5、P.6」より 環境活動の評価（結果と今後の方向）</p> <p>今期の削減目標に対して、「一般廃棄物の削減、建設副産物の適正処理の確認、水道水の削減」の3項目が目標達成しました。</p> <p>自動車燃料の削減に関すればほぼ目標達成ですが、電力の削減は今回残念ながら未達成となってしまった。ただ、原因は判明しており、対応済みで効果が確認できているので、次期は達成の期待度は高い。（井水配管の漏水で動力ポンプの異常稼働、配管の更新今年6月対応済）</p> <p>本社工屋も年数が経過し経年劣化の目に見えない部分も着目し、環境に影響ないか考える時期にきたと感じた。</p>
<p>その他、 アピールポイント等</p>	<p>当社エコ活動の一部取組写真</p> <p>参照「エコアクション21環境経営レポート2022年版 P.7」より</p>

発行:2022/10/3

エコアクション21

環境経営レポート 2022年度

(対象期間:2021年8月1日~2022年7月31日)



快晴早春の北アルプス 本社屋上より望む

総合建設業



株式会社 藤澤組

2022年度 環境経営レポート

目 次

	項 目	頁
1	取組の対象組織・活動 <ul style="list-style-type: none">・組織の概要・認証・登録の対象組織・事業規模	-1-
2	環境経営方針 <ul style="list-style-type: none">・環境経営理念・行動計画	-2-
3	活動組織 <ul style="list-style-type: none">・エコアクション21の取り組み体制	-3-
4	環境経営目標と実績 <ul style="list-style-type: none">・環境経営目標(2022~2024)・活動期間中の目標と実績	-4-
5	環境経営計画の取組結果と実績	-5-
6	次年度の環境経営目標及び 環境経営計画	-6-
7	法規等の遵守状況、全体の評価と見直し、活動状況 <ul style="list-style-type: none">・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無・代表者による全体評価と見直し・環境活動の紹介	-7-

1 取組の対象組織・活動

・組織の概要

1) 名称及び代表者名

株式会社 藤澤組
代表取締役 藤澤正佳

2) 所在地

本社:長野県松本市大字島内1260番地10
倉庫: 同上

3) 設立

昭和31年8月6日
資本金:5,000万円

4) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 藤澤達哉
環境事務局 中島佳代子
連絡先 TEL 0263(47)7770 / Email info@fujisawagumi.com

5) 事業内容

建設業 長野県知事 許可(特-28)第258号
許可業種 土木工事業、とび・土木工事業、石工事業、
鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、
造園工事業、水道施設工事業、解体工事業

6) 事業年度

当年8月1日～翌年7月31日

・認証・登録の対象組織

登録組織名 : 株式会社 藤澤組
事業活動 : 土木、舗装、造園、とび・土木工事業
認証登録範囲 : 全組織・全活動

・事業規模

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
完工高	百万円	800	1,231	766
従業員	人	32	32	32
床面積(合計)	m ²	1,646	1,646	1,646

2 環境経営方針

株式会社 藤澤組 環境経営方針

＜環境経営理念＞

当社の事業は、公共工事の施工を通じて、地域社会に貢献する事を使命に事業活動を行なっています。これからも、地域の発展に寄与し、地域の良好な環境を維持しつつ、地球温暖化防止対策に目を向け、環境負荷低減など全体を通じて、事業の効率化に取組み、健全な経営に反映できるよう、環境保全活動を推進します。なお、緊急災害時には当社の特性を踏まえ迅速な対応を持続していきます。

＜行動計画＞

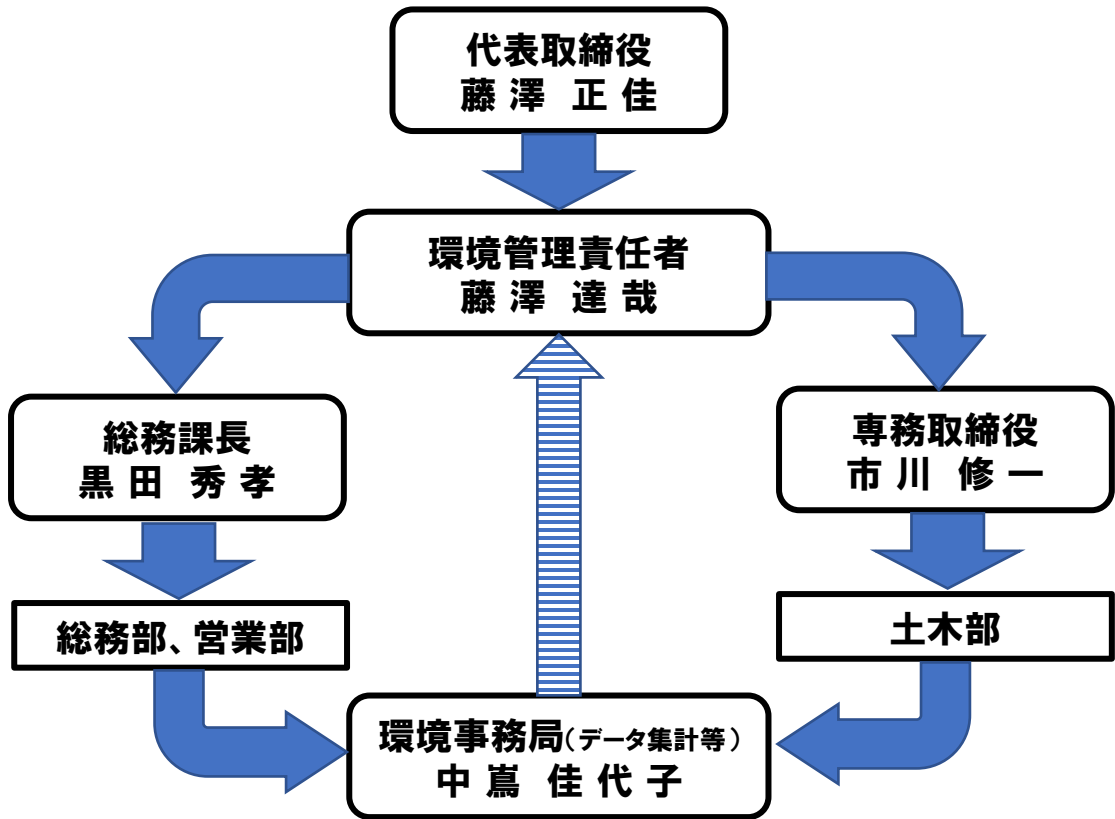
1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 当社の事業活動による環境配慮の取組に努めます。
3. 経営規模に応じて、電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 一般廃棄物の削減と3R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進します。
5. 経営規模に応じた適正な水資源の有効利用を進めます。
6. 事務用品等のグリーン購入やグリーン調達に出来る限り努めます。
7. 地域や関連団体の環境活動に積極的に参加します。
8. 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：2012年7月10日
改定日：2020年6月 1日

株式会社 藤澤組
代表取締役 藤澤正佳

3 活動組織

エコアクション21の取組体制（2022年度）



担 当	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定 ・環境資源の準備・提供 ・環境経営目標、環境経営計画書の承認 ・全体の評価と見直しの実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標、環境経営計画の策定 ・環境経営レポートの作成 ・環境負荷、取組の自己チェックの実施 ・全体会議で環境に関する情報の伝達 ・環境関連法規制の取りまとめ表作成と遵守評価の実施 ・外部からの環境に関する苦情や要望の対応
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境活動の実績集計
専務／総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門での環境経営方針の周知 ・各部門での環境経営計画の実施状況把握と取りまとめ ・各部門での問題点の発見、是正、予防措置の事務局への報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・環境経営計画に従い、環境経営目標達成のために活動する

4 環境経営目標と実績

環境経営目標(2022~2024)

項目		基準年度 平均実績	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
総CO ₂ 排出量の 原単位削減(※1)	kg-CO ₂ /M円	234.4	220.3	218.0	215.3
	対基準年度比	100%	94%	93%	92%
電力の削減(※2)	kg-CO ₂	17,063	16,039	15,869	15,698
	対基準年度比	100%	94%	93%	92%
自動車燃料の 削減	kg-CO ₂	162,538	152,786	151,160	149,535
	対基準年度比	100%	94%	93%	92%
一般廃棄物の 原単位削減(※1)	kg/M円	1.227	1.153	1.141	1.129
	対基準年度比	100%	94%	93%	92%
建設副産物の 適正処理の確認	トン	3,922	3,922	3,922	3,922
	対基準年度比	100%	あくまで参考値でメインはマニフェスト適正管理		
水道使用量の 原単位削減(※1)	m ³ /M円	0188	0177	0.175	0.173
	対基準年度比	100%	94%	93%	92%
工事評価点の 品質維持	点	—	80以上		
	対基準年度比	—			
事務用品の グリーン購入	%	45.6	48.3	48.8	49.2
	対基準年度比	100%	106%	107%	108%

活動期間中の目標と実績

活動期間(2022年度:21/8~22/7)の実績
目標値(基準年度の平均値に対して±6%)

項目	単位	目標値	実績値	対目標比率	評価
総CO ₂ 排出量の 原単位削減(※1)	kg-CO ₂ /M円	220.3	225.8	102%	×
電力の削減(※2)	kg-CO ₂	16,039	18,132	113%	△
自動車燃料の削減	kg-CO ₂	152,786	154,836	101%	△
総CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	168,825	172,968	原単位で評価	
一般廃棄物の 原単位削減(※1)	kg/M円	1.154	0.840	73%	◎
建設副産物の 適正処理の確認	トン	3,922	3021	—	◎
水道使用量の 原単位削減(※1)	m ³ /M円	0.177	0.072	41%	◎
工事評価点の品質維持	点	80以上	84.5	—	◎
事務用品の グリーン購入	%	48.3	54.5	112%	◎

※1…2019年度中部電力CO₂排出係数(0452kg-CO₂/kWh)を使用
※2…経営規模に応じた原単位で「.../M円」は「.../完工高(百万円)」

5 環境経営計画の取組結果とその評価

結果：◎よくできた ○ほぼできた △ややできた ×全くできなかった

環境経営計画の取組	結果	環境経営計画の取組	結果
消費電力の二酸化炭素量の削減			
・昼休み時の消灯	◎	・照明は必要個所、必要時のみ点灯	◎
・不使用時のOA機器等の電源off	○	・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	○
評価：井水排水管漏水発覚でポンプの高稼働率で無駄な電力消費を確認。7月に配管更新を行う。			
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減			
・エコドライブの励行(急がつか運転動作の防止等)	○	・車両係による適正な車両整備	◎
・現場への乗り合いの励行	○	・燃費の良い車、重機の購入(更新時)	-
評価：コロナ渦で個別に昼休憩を車内で過ごすため、冷暖房の使用は仕方ないと感じた。			
一般廃棄物の原単位削減			
・分別の徹底	◎	・両面、裏面コピー利用の促進	◎
・資源物ごみの適切なリサイクル化	◎	・廃棄物を計量し記録する	◎
評価：取組は良好。			
建設副産物(産業廃棄物)の削減			
・マニフェストによる適正処理の確認	◎	・マニフェストの管理(保管、集計、届出)	◎
・分別徹底による資源ごみの有効利用	◎		
評価：適切な処理ができており法遵守も良好。倉庫に不要で眠った資源資材もリサイクル処分した。			
水道使用量の原単位削減			
・日常的な節水の励行	◎	・水道配管の定期的な点検	△
・現場用水の井水使用の徹底	○		
結果：井水配管腐食の漏水が数年に渡り放置状態だった。配管更新で水道も再チェックし一部更新。			
工事評価点の品質維持			
・評価項目別の分析と対応策の考察	○		
結果：ほぼ満足できるレベル。ただし、発注先でバラつきは確認できた。			
事務用品のグリーン購入			
・再生紙、エコマーク商品の購入	○	・環境配慮型商品の購入(グリーン購入)	○
・詰め替え可能製品の使用	○		
結果：購入比率以外の配送面に考慮し、まとめ注文で回数で考慮できたと思う。			
事業活動による環境配慮の取組			
・自然環境保全、動植物の保護	○	・現場での地域への貢献	○
・会社周辺の草刈り	○		
結果：取組が可能な現場は積極的に取組んでいた。			
社会貢献			
・建設業協会のボランティア活動への参加(草刈等)	○	・建設業協会の献血活動への参加	○
結果：コロナ渦でSTOPしていた中学生の職場体験を実施できた。			

6 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

総CO₂排出量の原単位削減 基準年平均の93% 218.0kg-CO₂/MP円				
消費電力の二酸化炭素量の削減 基準年平均の93% 15,869kg-CO₂ :取組の為の参考目標				
取組内容	・昼休み時の消灯	継続	・照明は必要個所、必要時のみ点灯	継続
	・不使用時のOA機器等の電源off	継続	・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	継続
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減 基準年平均の93% 151,160kg-CO₂ :取組の為の参考目標				
取組内容	・エコドライブの励行(急がつく運転動作の防止等)	継続	・車両係による適正な車両整備	継続
	・現場への乗り合いの励行	継続	・燃費の良い車、重機の購入(更新時)	継続
一般廃棄物の原単位削減 基準年平均の93% 1.141kg/MP円				
取組内容	・分別の徹底	継続	・両面、裏面コピー利用の促進	継続
	・資源物ごみの適切なリサイクル化	継続	・廃棄物を計量し記録する	継続
建設副産物(産業廃棄物)の削減【適正処理の管理】				
取組内容	・マニフェストによる適正処理の確認	継続	・マニフェストの管理(保管、集計、届出)	継続
	・分別徹底による資源ごみの有効利用	継続		
水道使用量の原単位削減 基準年平均の93% 0.175^m₃/MP円				
取組内容	・日常的な節水の励行	継続	・水道配管の定期的な点検	継続
	・現場用水の井水使用の徹底	継続		
工事評価点の品質維持 平均80点以上				
取組内容	・評価項目別の分析と対応対策の考察	継続		
事務用品のグリーン購入 基準年平均の107% 48.8%				
取組内容	・再生紙、エコマーク商品の購入	継続	・環境配慮型商品の購入(グリーン購入)	継続
	・詰め替え可能製品の使用	継続		
事業活動による環境配慮の取組				
取組内容	・自然環境保全、動植物の保護	継続	・現場での地域への貢献	継続
	・会社周辺の草刈り	継続		
社会貢献				
取組内容	・建設業協会のボランティア活動への参加(草刈等)	継続	・建設業協会の献血活動への参加	継続

7 法規等の遵守状況、全体の評価と見直し、活動状況

環境関連法規等の遵守確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである

適用される法規制	適用される事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の保管・運搬・処分の委託、管理者の報告	遵守
騒音・振動規制法	指定区域内での特定建設作業の届出	遵守
建設リサイクル法	再資源利用・促進計画書、実施所の作成 発生の抑制、再利用・再生利用・再資源化努力	遵守
水質汚染防止法	工業用貯油施設の事故等の措置と届出	遵守
大気汚染防止法	解体、改修工事に伴う「特定建設材料」の除去作業の計画書届出	遵守
建設工事公衆災害防止対策要綱	公衆災害を防止するための要綱の遵守	遵守
家電リサイクル法	家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)の事業所使用後のリサイクル	遵守
自動車リサイクル法	事業所の使用済自動車のリサイクル・適正処理	遵守
グリーン購入法	物品購入時に環境物品等の購入	遵守
環境配慮確認書等	松本市の環境方針及び環境配慮項目を尊重	遵守
道路交通法	道路工事における道路使用許可申請書の届出	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の漏洩点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていることを確認しました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

環境経営活動は概ね順調に取り組むことができたという評価したい。
今回井水設備の配管漏水などが判明し、動力系の消費電力に影響していたと考えられる。社屋の設備の経年劣化もあり、目で捉えられない部分も着目する事も必要だと感じた。
コロナ感染症も対応が進んだこともあり、今まで受け入れられなかった職場体験など再開できたことは喜ばしく、停滞した社会で環境活動の裾野が広がりつつあるのかと感じられた。

環境活動の紹介



会社入口花壇



会社周辺草刈(敷地外)



中学生職場体験(ドローン操縦)